

# iid Press

株主通信「イードプレス」

2016年6月期  
(2015.7.1~2015.12.31)

上半期報告書



第17期

We are the User Experience Company.



## 株主の皆さまへ

TOP MESSAGE



株式会社 イード代表取締役

宮川 洋

急速に変化するメディア環境の中で

### 「変化・成長・進化」

を続けます。

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2016年6月期上半期の事業概況について、ご報告させていただきます。

### 2016年6月期上半期のご報告

当上半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は21億5,688万円(前年同期比23.6%増)、営業利益は1億5,046万円(前年同期比35.4%減)、経常利益は1億4,642万円(前年同期比36.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,692万円(前年同期比40.1%減)となりました。売上高は順調に増加を続けている一方で、パズル雑誌における返品率の増加、デジタルキャラクターコンテンツビジネスにおける売上減による影響で営業利益以下はいずれも減少いたしました。

このような上半期の進捗状況を踏まえた上で通期の業績予想については修正を行っておりますが、上半期中に利益減少の要因となった、パズル雑誌およびデジタルキャラクターコンテンツビジネスへの対策はすでに実施しており、また新たなM&Aによる売上、収益の拡大も引き続き積極的に行なっていく所存です。

引き続き今後ともご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

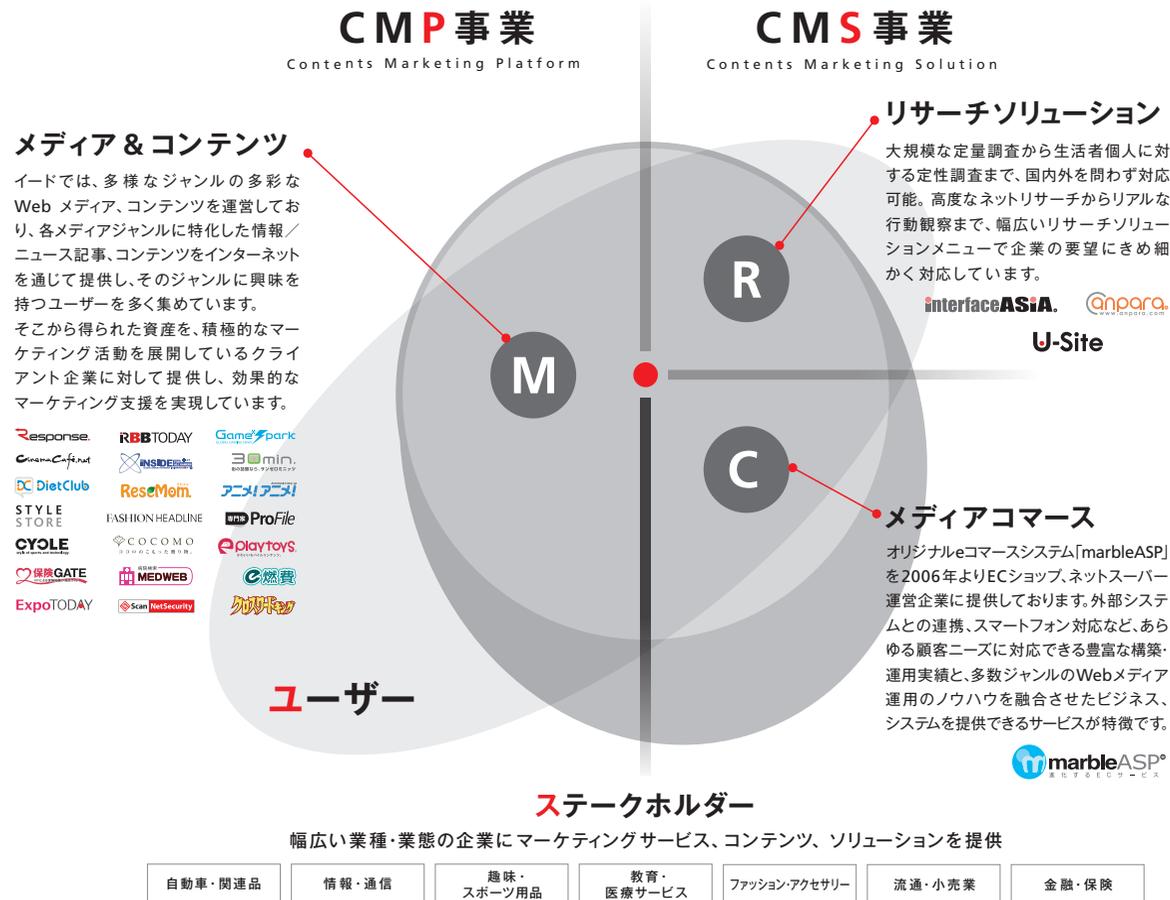
# Contents Marketing Company

イードはWebメディア運営会社の旧IRIコマース&テクノロジーと、マーケティングリサーチ会社の旧イードが合併して生まれた、コンテンツマーケティングカンパニーです。

「We are the User Experience Company.」という考えのもと、インターネットを活用した企業のマーケティング支援事業を軸に、全てのステークホルダーにとって最高のUXを提供できるよう挑戦し続けています。

### 事業の概況

コンテンツマーケティング企業としての地位を確立するために、顧客に対してマーケティングサービスとデータ・コンテンツを提供する「コンテンツマーケティングプラットフォーム事業(CMP事業)」と顧客に対してリサーチソリューションとメディアコマースを提供する「コンテンツマーケティングソリューション事業(CMS事業)」を行っています。



### 事業の特徴

「iid-CMP」はCMP事業で運営しているWebメディア、コンテンツの共通プラットフォームです。2009年8月より稼働を開始した「iid-CMP」は、M&A、新規事業開発などにより、新たに増えたWebメディア、コンテンツを「iid-CMP」上に搭載していくことで、機能を充実させてきました。「iid-CMP」の特徴は、①集客機能 ②ローコストオペレーション ③データベースへの蓄積 ④コンテンツマネジメント機能があげられます。



## 2016年上半期 業績ハイライト

- ・売上は順調に増加。前年の上半期と比較し23.6%増加いたしました
- ・対して営業利益以下は減少し、営業利益の前年上半期との比較では35.4%減少しています

## 上半期業績ハイライト (百万円)

|      | 第2四半期 | 前年同期比  | 上半期   | 前年同期比  |
|------|-------|--------|-------|--------|
| 売上高  | 1,108 | 127.2% | 2,156 | 123.6% |
| 営業利益 | 81    | 78.6%  | 150   | 64.6%  |
| 経常利益 | 80    | 79.7%  | 146   | 63.6%  |
| 当期利益 | 51    | 89.1%  | 86    | 59.9%  |

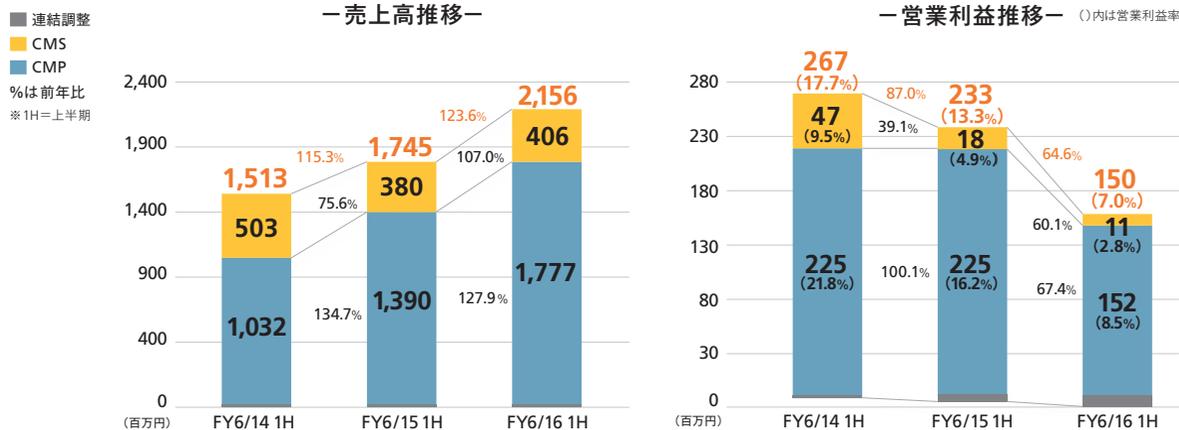
## 上半期トピックス

- メディア数は19ジャンル44サイト  
上半期で4サイト増加
- PV数は123百万PV/月から129百万PV/月へ増加  
(前期末比105.0%)
- UU数は27百万UU/月から36百万UU/月へ増加  
(前期末比129.6%)

※PV、UU数は上半期の月平均と前年同期累計の平均を比較しております。  
※当期利益とは親会社株主に帰属する四半期純利益のことです。

## 2016年上半期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CMP事業は順調に売上増加。CMS事業も第1四半期では減少傾向でしたが第2四半期で受注が進み売上増へ転じました
- ・営業利益は両セグメント共に減少し、営業利益率は前上半期から6.3ポイント減少しました



## 2016年上半期 進捗状況

- ・通期業績予想は営業利益3億円、経常利益2億9,394万円、当期利益1億9,426万円に修正いたしました
- ・売上高については前回予想と同じく44億6,990万円となります

当上半期の状況を踏まえ、通期業績予想を営業利益5億5,257万円から3億円へ、経常利益を5億4,790万円から2億9,394万円、当期利益を3億4,869万円から1億9,426万円に修正しております。売上高については44億6,990万円のまま変更しておりません。利益減少の要因となった事項に対してそれぞれに対策を行なっておりますが、下半期まで影響が残ることを想定しております。

|      | FY6/16 上半期計 |       | FY6/15 上半期計 |            | FY6/16 通期 |  |
|------|-------------|-------|-------------|------------|-----------|--|
|      | 今期実績        | 前期末実績 | 前年同期比       | 業績予想 (修正後) | 進捗率       |  |
| 売上高  | 2,156       | 1,745 | 123.6%      | 4,469      | 48.3%     |  |
| 営業利益 | 150         | 233   | 64.6%       | 300        | 50.2%     |  |
| 経常利益 | 146         | 230   | 63.6%       | 293        | 49.8%     |  |
| 当期利益 | 86          | 145   | 59.9%       | 194        | 44.8%     |  |

※当期利益とは親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益のことです。

(百万円)

## 2016年貸借対照表

- ・前期末より純資産は3.7%、1億600万円増加し29億8,047万円となりました
- ・のれんは償却が進み2,700万円減少いたしました

当上半期連結会計期間末における総資産は42億5,175万円(前期末比1億3,054万円増)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億6,417万円、投資その他の資産が1億6,838万円増加した一方で、現金及び預金が1億9,713万円減少したこと等によるものです。同じく負債総額については12億7,128万円(前連結会計年度末比2,453万円増)となりました。これは主に、買掛金が6,279万円、賞与引当金が258万円、子会社における長期借入金が4,434万円、返品調整引当金が558万円増加した一方で、未払法人税等が2,433万円、その他流動負債が3,753万円、その他固定負債が3,122万円減少したこと等によるものです。純資産合計については29億8,047万円(前連結会計年度末比1億600万円増)となりました。これは主に、利益剰余金が8,692万円増加したこと等によるものです。

|        | FY6/16 上半期末 | FY6/15 通期末 | 前期末比 増減額 | 前期末比   |
|--------|-------------|------------|----------|--------|
| 流動資産   | 2,965       | 3,003      | -38      | 98.7%  |
| 現金及び預金 | 1,651       | 1,848      | -197     | 89.3%  |
| 固定資産   | 1,286       | 1,117      | 168      | 115.1% |
| のれん    | 464         | 491        | -27      | 94.4%  |
| 資産合計   | 4,251       | 4,121      | 130      | 103.2% |
| 流動負債   | 1,103       | 1,095      | 7        | 100.7% |
| 固定負債   | 168         | 151        | 17       | 111.3% |
| 負債合計   | 1,271       | 1,246      | 24       | 102.0% |
| 株主資本   | 2,949       | 2,850      | 98       | 103.5% |
| 利益剰余金  | 1,207       | 1,121      | 86       | 107.8% |
| 純資産    | 2,980       | 2,874      | 106      | 103.7% |
| 負債・純資産 | 4,251       | 4,121      | 130      | 103.2% |

(百万円)

# イードの高い技術力が集約されている iid-CMP を基盤とした新しいアドサービス。

New ad service based on iid-CMP featuring our cutting-edge technology

世界の急速なメディア変化・成長とともに拡大・進化してきたイードのコンテンツマーケティングプラットフォーム(CMP)事業。イードはデータドリブン型マーケティングを実践し、売上拡大に直結するアドサービスをスピーディーに提供しています。テクノロジーオリエンテッドなマーケティングプラットフォームがイードの根幹です。



## 19ジャンル 44サイト (2015年12月現在)

広い読者層に向けて様々なサービスを展開していきます。

### CMP事業の新しいアドサービス 「イード・トラフィック・デリバリー」

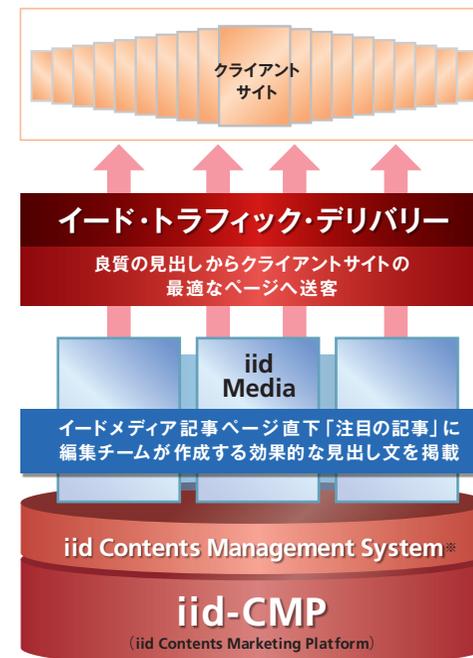
iid-CMPの実績とノウハウを活かし、各媒体の読者層やコンテンツに最適化した広告を表示。企業のオウンドメディアなどクライアントサイトへの高品質なトラフィックを加速させていきます。

「イード・トラフィック・デリバリー」はイードが運営するメディアの記事本文直下に設置した見出し表示枠から、クライアントサイトに対しユーザー送客を行う、クリック課金型のアドサービスです。イードの経験豊富な編集者が見出し文章の作成と、読者の反応を元に再編集を行う事で、品質の高い見出しによるコンテンツ訴求を行います。このことによりコンテンツに対して関心度や読了率が高く、回遊率の期待できる高品質なトラフィックを誘導することが可能となります。また、メディア毎の見出し表示枠に掲載されるコンテンツ・見出し文章は、独自のアルゴリズム(配信ロジック)により親和性の高いものが選択されるため、イードが提供する多様なメディア中で、属性の近いメディアからの送客を期待することができます。

### Google モバイル 検索で対応開始した AMP ページを提供

イードメディアは、いち早く Accelerated Mobile Pages (AMP: アンプ) に対応し、Google が 2016 年 2 月 25 日に発表した AMP 対応検索で、イードが提供するコンテンツが高速に表示されるようになりました。まずは「レスポンス」「リセマム」「シネマカフェ」が AMP に対応。(2016 年 2 月末現在) 今以上に速いスピードで、記事、ニュースや写真が表示され、より快適に必要な情報を入手、閲覧する事が可能となるよう今後も順次対応していきます。

※ Accelerated Mobile Pages (AMP: アンプ) プロジェクトはオープンソース プロジェクトです。



※特許出願中 iid Contents Management System (出願No.2015-253139)



# 「iid-CMP」と「人」の力でM&Aにて取得したメディアを再生しバリューアップに成功してきました。

Through the strengths of iid-CMP and our human resources, we have reproduced and enhanced the value of media, which we acquired through M&A.

イードは創業から数多くのWebメディアをM&Aで取得してまいりました。これまで36サイト取得し継続率は86.1%。iid-CMPが誇るシステム力、集客力、コンテンツ制作力、マネタイズ力に、イードの「人」の力が加わり、オリジナリティと価値を高めています。高い技術基盤とイードスタッフのフロンティアスピリットがイードの財産です。

## イードだけのバリュープロポジション

取得したメディアや新規開発メディアの収益を適正化する  
イード・コンテンツ・マーケティング・プラットフォーム (iid-CMP)

iid-CMPに「情報=命」を吹き込む「人」

iid Talk



Response.

各ジャンル、各業界の違いはあれど、共通の悩みもあるのがメディア運営です。技術基盤を共有することで編集部は横の繋がりを得てノウハウを共有します。「ビジネスモデルのポートフォリオをつくる」それがイードのメディア成長の鍵です。  
(レスポンス編集長 三浦和也)

## M&Aの推移

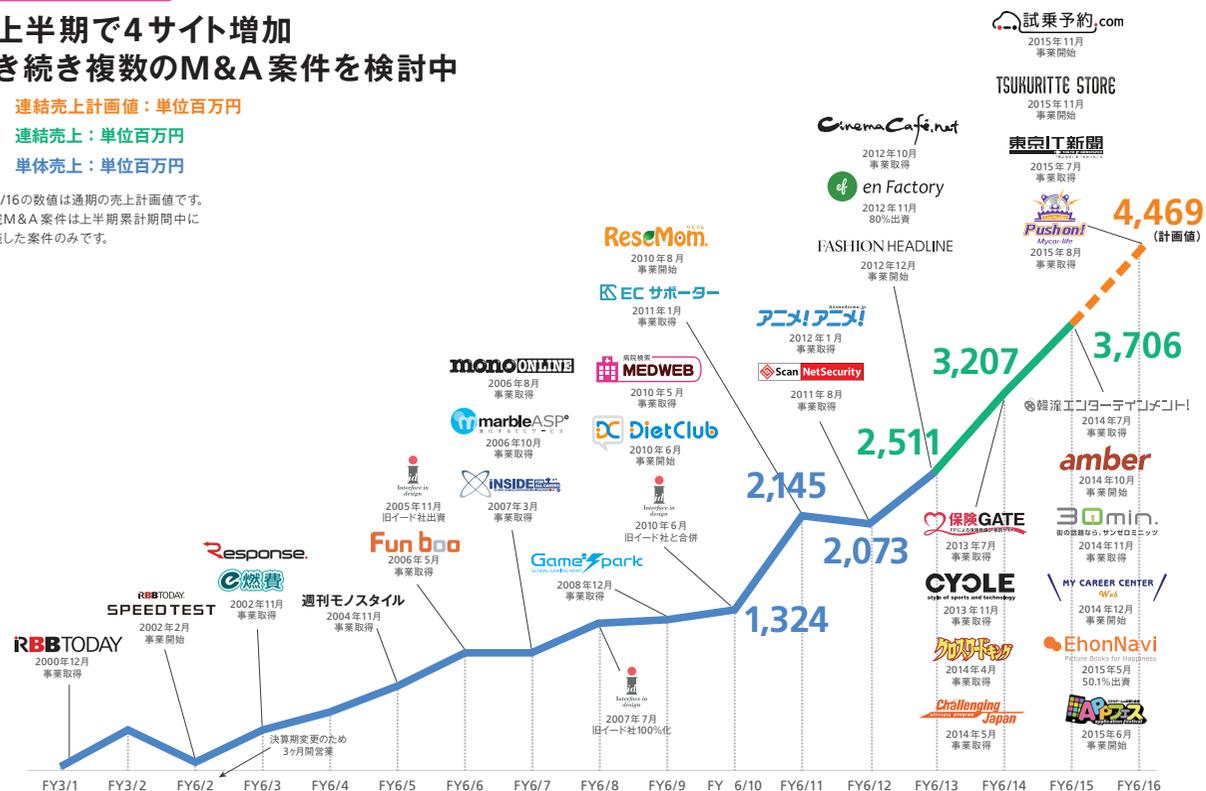
- ・当上半期で4サイト増加  
引き続き複数のM&A案件を検討中

数値 連結売上計画値：単位百万円

数値 連結売上：単位百万円

数値 単体売上：単位百万円

※FY6/16の数値は通期の売上計画値です。  
記載M&A案件は上半期累計期間中に実施した案件のみです。



iid Talk

Cinema Cafe.net

多数のメディアを運営しているイードだからこそ培ったきたノウハウがあり、そのノウハウが展開されていくので、編集部が始まる近未来にむけて進化していく車の中のエンターテインメント。小さな空間の中で自分だけの大きな世界を広げる最新情報を発信します。  
(シネマカフェ 副編集長 八木 杏奈)

iid Talk

ANIME! ANIME!

メディアの運営は近年より総合力が必要とされています。その中で多数のメディアを持つイードは技術力、営業力、企画力で大きな優位性があります。それは1+1を2ではなくさらに大きくする力です。イードに加わることでメディアの大きな成長が実現出来ました。  
(アニメ!アニメ!編集長 数直 直志)

## News & Pick UP



車の中のエンターテインメントが広がる  
カーオーディオ情報専門メディア



## TSUKURITTE STORE ツクリッテストア

みらいの商品あつめました  
発売前の商品や開発中の商品のお店



まだ世の中に広く流通する前、あるいは開発段階の商品をいち早く、新しいもの好きの皆さまにご紹介するサイトです。あと驚くアイデアや新しい技術、職人の技と心がこもった品など、新しい驚きや幸せをもたらしてくれる商品たちに出会っていただければ幸いです。

## 会社概要

|      |  |
|------|--|
| 会社名  | 株式会社イード (IID, Inc.)  |
| 設立   | 2000年4月28日   |
| 所在地  | 〒163-0228 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル28階                              |
| 資本金  | 849,882千円  |
| 事業内容 | メディア事業<br>リサーチ事業<br>メディアコマース事業                                   |
| 従業員数 | 単体167名／連結222名  |
| 子会社  | Interface in Design, Inc.<br>株式会社エンファクトリー<br>株式会社泰文堂<br>株式会社絵本ナビ |



## 役員

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 代表取締役 | 宮川 洋                            |
| 取締役   | 工木 大造                           |
| 取締役   | 須田 亨                            |
| 取締役○  | 白井 俊徳 (株式会社三越伊勢丹ホールディングス 執行役員)  |
| 取締役○  | 今川 聖 (エキサイト株式会社 代表取締役社長)        |
| 取締役○  | 大和田 廣樹 (株式会社ブロードバンドタワー 取締役)     |
| 取締役○  | 吉崎 浩一郎 (株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役) |
| 監査役   | 山中 純雄 (常勤監査役)                   |
| 監査役○  | 岡田 智雄 (元ニフティ株式会社 代表取締役社長)       |
| 監査役○  | 安達 美雄 (元株式会社大塚商会 執行役員)          |

○=社外役員

## 株主の概況

|          |            |
|----------|------------|
| 発行可能株式総数 | 8,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 4,901,600株 |
| 株主数      | 1,768名     |

■大株主の順位※

| 順位 | 大株主名   | 株式数     | 持株比率   |
|----|--|---------|--------|
| 1  | エキサイト株式会社  | 706,900 | 14.42% |
| 2  | 株式会社三越伊勢丹ホールディングス  | 653,100 | 13.32% |
| 3  | 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ                                      | 517,700 | 10.56% |
| 4  | 株式会社マイナビ   | 400,000 | 8.16%  |
| 5  | インスパイア・テクノロジー・イノベーション・ファンド<br>投資事業有限責任組合                 | 323,800 | 6.60%  |
| 6  | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                                  | 291,800 | 5.95%  |
| 7  | 電通デジタル投資事業有限責任組合   | 200,000 | 4.08%  |
| 8  | GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL<br>(常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社) | 128,900 | 2.62%  |
| 9  | 宮川 洋   | 122,000 | 2.48%  |
| 9  | 工木 大造  | 122,000 | 2.48%  |
| 11 | ドコモ・イノベーションファンド投資事業組合                                    | 114,600 | 2.33%  |

## 株式についてのご案内(株主メモ)

|            |  |
|------------|--|
| 上場市場       | 東京証券取引所マザーズ  |
| 証券コード      | 6038   |
| 事業年度       | 毎年7月1日から翌年6月30日まで  |
| 定時株主総会     | 毎年事業年度終了後3ヶ月以内   |
| 株主確定基準日    | 毎年6月30日  |
| 株式の売買単位    | 100株   |
| 公告掲載方法     | 電子公告により行います。公告掲載URL: <a href="http://www.iid.co.jp/company/koukoku">http://www.iid.co.jp/company/koukoku</a><br>やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 株主名簿管理人    | 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  |
| 同事務取扱場所    | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  |
| 連絡先・郵便物送付先 | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711(フリーダイヤル)  |

●利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当について

当社は株主に対する利益配分を経営の最重要課題として捉え、将来の事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。このことから、経営成績及び財政状態を勘案し、内部留保の充実を図るため設立以来現在に至るまで利益配当を実施していません。内部留保資金につきましては、経営基盤の長期安定に向けた財務体質の強化及び事業の継続的な拡大発展を実現させるための資金として、有効に活用していく方針であります。また、中間配当を行うことができる旨を定款に定めておりますが、剰余金の配当は期末配当の年1回を基本方針としております。配当の決定機関は、期末配当については定時株主総会、中間配当については取締役会であります。今後につきましては、各事業年度の財政状態及び経営成績を勘案しながら、株主への利益還元を検討していく予定ではありますが、現時点において配当実施の可能性及びその時期等については未定であります。

# iid Press

株主通信「イードプレス」

2016年6月期 上半期報告書

(2015.7.1～2015.12.31)



## 株式会社イード

(証券コード 6038)

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に掲載されている各セグメントの数値はセグメント内に連結調整を反映する前の数値です。

第17期